



よこはま しゅうおうあうりうり しじょうばんじょう
横浜市中央卸売市場本場



よこはま しゅうおうあうりうり しじょうばんじょう
横浜市中央卸売市場本場

よこはまの食再発見!



よこはま せいさんしゃ のうえん
横浜市の生産者の農園



よこはま しじょうちゆうてん りょうり
横浜市場直送店の料理



よこはま ちさんちゆう てん りょうり
よこはま地産地消サポート店の料理



よこはま ちさんちゆう てん りょうり
よこはま地産地消サポート店の料理



よこはま しちう やまなかたけはる
横浜市長山中竹春

市長だより
横浜の生産者＜食べものを作る人＞が育てた横浜生まれの野菜や果物、肉や魚。野菜などを作る土地の広さや、作る人の数は神奈川県で横浜が1番です。市民のみなさまの近くに、生産者の気持ちがかもった、たくさんの“食べもの”があります。

横浜市中央卸売市場は、毎日400種類くらいの食べものが集まります。376万人の市民のみなさまの食べものを支える場所です。

横浜市内に300店くらいある「横浜市場直送店※1」は、朝にとれた魚や、季節の野菜や果物、国産の牛肉など、市場の人が選んだ食べものを味わうことができます。市場の食べものの新鮮さと、良い品物は、たくさんの人に親しまれています。

横浜の“食べもの”に欠かせないのが、市内で作る野菜や肉です。170店くらいの「よこはま地産地消サポート店※2」では、採れたばかりの野菜や卵、横浜の豚肉“はまぼく”が食べられます。生産者のみなさんが大切に育てた“横浜の味”を楽しむことができます。市内で作られたものを食べることは、横浜の農業を応援し、横浜の食べものの文化を、未来へつなぐことになります。

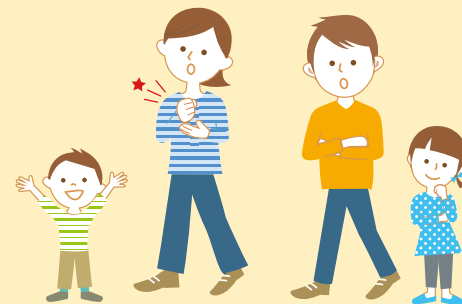
横浜の“食べもの”は、市場や生産者、お店などたくさんの人が支えています。これからも“食べもの”の魅力を伝えて、人と地域がつながる、元気があちまづくりをしていきます。

※1 横浜市場直送店＝横浜市中央卸売市場からといた新鮮な食べものを使った料理を出すお店

※2 地産地消サポート店＝市内でとれたものを使った料理を出すお店



横浜の食を支える



376万人の市民のみなさんの毎日のごはんを支えているのが横浜中央卸売市場です。2,400人以上の人が働いています。400種類くらいの野菜や果物、肉、魚などを集めて、市民のみなさんに届けています。決まった時間に、魚や野菜、肉の「せり※」が行われます。市場で決まるお金が、お店で売ってお金の目安になります。安全で安心な食べものを、正しいお金で届ける大切な仕事をしています。※せり=市場で、売る人と買う人が声を出して、食べもののお金を決めて売ること



市場に行ってみよう！



市場一般開放※

※市場にみなさんが入れる日

日時

毎週土よう 8時～10時
(11月14日、1月2日はありません)

場所

水産棟

横浜市場まつり

日時

11月15日(日) 8時～13時30分

場所

水産棟



買って、食べて、体験しよう！マイナス40℃のとても低い温度の冷蔵庫や模擬せり<せりのやり方をまねして行うこと>の体験、いけす<生きている魚を入れる水の入ったいれもの>の見学など、市場を楽しめます。



くわいいことはこちら



市場からきた野菜や果物、魚を売っています。マグロの解体ショー<大きなマグロを、その場で切りわけて見せること>など、市場のにぎわいを感じられます。



くわいいことはこちら

さが を探しに行こう！

市場に集められる新鮮な食材、市内で育った野菜や果物。市民のみなさんの近くにある横浜の「食べもの」の魅力をお届けします。

おいしいを味わおう！

横浜には、朝にとれた魚やおいしい国産の牛肉など、市場から届く食べものを出す「横浜市場直送店」、朝にとれた野菜や卵、横浜の豚肉「はまぼく」など、生産者のみなさんが大切に育てた横浜の食べものが食べられる「よこはま地産地消サポート店」があります。



魅力のあるお店がいっぱいあります！



よこはま し じょうちよくそうてん
横浜市場直送店

市内に
300
店くらい



かわいいことはこちら



ち さん ち しょう
よこはま地産地消サポート店

市内に
170
店くらい



かわいいことはこちら



ナチュラル・ポーノ



あお ばく ふじ おか
青葉区／藤が丘駅

100種類くらいの季節の野菜が食べられるイタリア料理のお店です。珍しい野菜を使い、お惣菜＜そのまま食べれる料理＞を売るお店もやっています。農家の人と一緒に食べものを捨てずに使うようにしています。



オーガスタミルクファーム



せ や く の
瀬谷区／いずみ野駅

牧場がやっているお店です。新鮮な牛乳を使ったソフトクリームが食べられます。牛のお世話や乳しぼりなどの体験ができて、子どもたちが地域の良さを感じられます。



お好み焼き みかさ



なか く ひ の であう
中区／日ノ出町駅

1953年にできたお店です。市場からの新鮮な食べものを使ったお好み焼きが人気です。いろいろなお店が集まる野毛を長い間支えています



TSUBAKI食堂



なか く ば しやみち
中区／馬車道駅

横浜の野菜やはまぼく（豚肉）、クラフトビールを食べて飲めるお店です。大学生と一緒に、食べものの魅力を伝えていて、地産地消を広げるようにしています。



浜懐石 つねとら



ほ と が やく かし とつか
保土ヶ谷区／東戸塚駅

市場から届く季節の食べものを食べられる懐石料理※のお店です。小学校に行って、出汁＜料理の味のもとになるもの＞やお吸物＜出汁を使ったスープ＞を作りながら、和食の魅力を子どもたちに伝えるようにしています。

※日本の伝統的なコース



海鮮酒家 海陽飯店



みどりく とおかいば
緑区／十日市場駅

「体にやさしい、おいしい料理」を考えて、作っている中華料理店です。横浜のお米を使った玄米チャーハンや無添加味噌＜保存料などを入れていない味噌＞を使ったシュウマイなど、地産地消のおいしさを届けています。

9月は台風の季節です

横浜を豪雨から守る

浸水※を防ぐ！

雨に強いまちづくり

※浸水=家や建物に水が入ってくる

※豪雨=とても強くたくさん降る雨

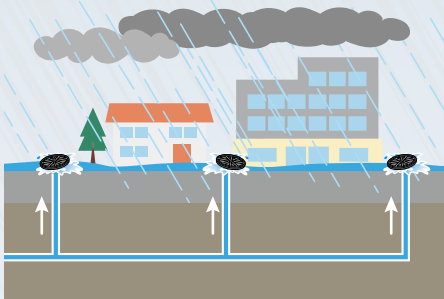
まちでは、強い雨が降ると水を流す力が足りなくなります。下水道から水があふれて、道や家のまわりが水でいっぱいになる「内水氾濫※」がおきます。

横浜市は、たくさんの雨を集めて、安全に川や海へ流す「雨水幹線」や、雨をためる「雨水調整池」を作ることを進めています。

※内水氾濫=大雨で下水道や水路に水があふれること

よくする前

下水道が水を流せなくなると、水があふれて「内水氾濫」が起きます。



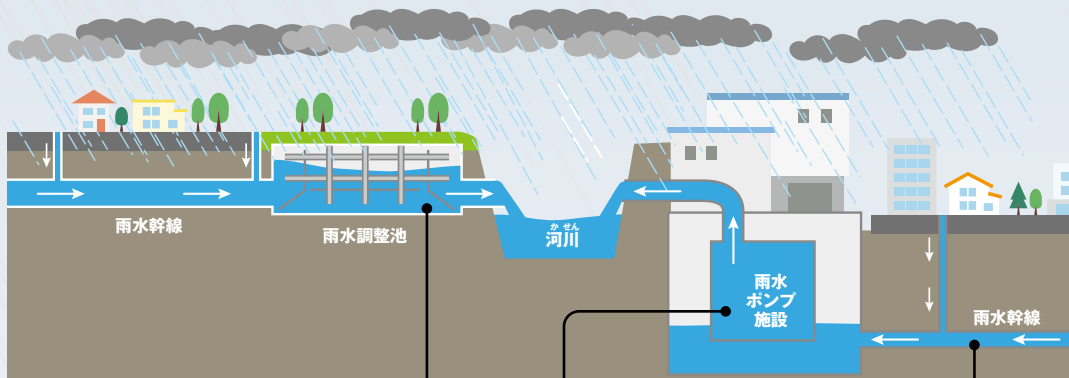
今年の台風で浸水を防ぎました！

今年6月の台風6号で、市内のたくさんの場所で大雨がふりました。雨水幹線・雨水調整池などの施設で、25mプール2,000杯分くらいの雨を貯めて、浸水を防ぎました。

これからの台風や大雨の時も、この施設が雨を貯める場所になり、市民の安全を守ります。

よくした後

下水道の水をはき出す力を強くと、内水氾濫が起きなくなります。



雨水調整池 (飯島雨水調整池)



大雨が降った時に雨をためます。

雨水幹線



たくさんの雨を集めて、海や川へ水を流します。

雨水ポンプ施設



雨水調整池などにたまった雨を、海や川に流します。

命を守るために

もしもの時のために準備しましょう

ハザードマップを利用しましょう

大雨で家や建物の中に水が入ってきた時に、早く避難ができるように、自分の家や会社・学校がある場所が安全かを確認できます。



くわいにとはこち



横浜市水防災情報を確認しよう

大雨のとき、川は見に行かないでください。「横浜市水防災情報」は、カメラの映像で川の様子を見ることができます。また、川の水の高さや避難したほうがよいかわかります。



くわいにとはこち





GREEN
x
EXPO
2027
YOKOHAMA JAPAN

よこはま
横浜グリーンエキスポへ
こどもたちを招待します！

公式マスコットキャラクター トウンクトゥンク ©Expo 2027

エキスポに1回入場できる「こども招待1日券」を無料で配ります。

対象の人 2027年4月1日に横浜市に住んでいる4歳～18歳の人(3歳より下は無料)

申し込み方法 横浜市子育て応援サイト・アプリ「パマトコ」から申し込んでください

※2027年4月1日の時に18歳の人は、2027年3月31日までに申し込んでください。

受付する期間
2027年
9月5日(日よう)まで



きくところ 横浜市こども招待コールセンター TEL 050-3669-2045 (月よう～金よう9時～18時(祝日・休日・年末年始はお休み))
FAX 045-212-1223

入場チケット・
シャトルバス・
駐車場の予約が

9月18日(金よう)から
はじまります！



くわいいとはこちら

ギネス世界記録※に挑戦します！

ぎゅうこん 球根ミックス花壇づくりに
さんか 参加する人を募集します

※世界一の記録を認める団体

エキスポ会場と市内の5つの会場をオンラインでつないで、みんな
で同じ時間に球根<花や植物のたねや根>を植えてギネス世界記録に
挑戦します。

【開催日】11月14日(土よう) 【募集する期間】10月9日(金よう)まで

きくところ 問合せセンター TEL 0120-034-802 (月よう～金よう 9時～18時(祝・休日はお休み)) FAX 045-641-0821



応募についてはこちら



よこはま
彩発見
vol.45

海、港、緑、歴史、地域、人々など、さまざまな魅力を持つ横浜。このまちの彩りを「よこはま彩発見」として届けていきます。
今回は、横浜市歴史博物館(都筑区)からです。

みなみむさし へいあんぶつ
南武蔵の平安仏

よこはま し れき し はくぶつかん 学芸員 はなざわ あ ゆ み
横浜市歴史博物館 花澤明優美

1000年も昔に横浜で作られた仏像が今も大切にされていることを
知っていますか。

平安時代(1192年くらい)の終わりに、京都で仏師<仏像をつくる
人>・定朝が、日本らしい仏像の形「和様」を作りました。優しくて美
しい形は、日本中に広がり、横浜にも伝わりました。

その頃、横浜は武蔵国の久良岐郡・橘樹郡・都筑郡という場所で
した。平安時代終わりに作られた仏像は久良岐郡や橘樹郡にあっ
た「郡寺」に今も伝えられています。都筑郡では、昔の村の跡から仏
教を信じていた様子が見つかっています。こうした資料から、仏教を

信じる様子がわかります。

横浜市歴史博物館の特別展「南武蔵の平安仏」は、むかし仏教
を信じていた人の思いを今の人に伝える仏像をみることができます。

つづきく せいりんじ ぼさつりゅうぞう こうほくく さいほうじ じゅういちめんかんのん ぼさつ
都筑区・清林寺の菩薩立像や港北区・西方寺では十一面観音菩薩
立像などの「和様」の作り方を取り入れた仏像が見られます。

京都から離れた横浜で、仏教の教えがどのように伝えられたか、仏
像をとおして見るができます。ぜひ会場に来てください。

とくべつてん
特別展
みなみむさし へいあんぶつ
「南武蔵の平安仏」は、
10月31日(土よう)から
12月13日(日よう)まで
開催します。



きくところ よこはま し れき し はくぶつかん
横浜市歴史博物館 TEL 045-912-7777 FAX 045-912-7781

【交通】「センター北」駅で下車、歩いて5分。駐車場(有料)もあり。
【休館日】毎週月よう(月ようが祝日の場合は次の日)



ウェブ版では
抽選で
読者プレゼントが
あります

もっと
くわしい話は
こちら



つづきく せいりんじ ぼさつりゅうぞう しししていふん さい
都筑区清林寺 菩薩立像(市指定文化財)▶

いきいきとした毎日を これからも **ヨコハマ** で

よこはまし
横浜市は、いつまでもげんきに過ごせるように、
そと外に出ることなどを楽しむきっかけをつくって
います。

およそ1,810^{てん}店で
使える！



そと外に出るのが楽しい毎日になります

さい65歳より上の人は、かいもの、にゅうじょうりょう、わりびき、う買物や入場料の割引※を受けることができる「濱ともカード」が使え
ます。濱ともカードを使ってまちへ出かけて、いきいきとした毎日をすごしませんか。

※割引＝お金が安くなること

楽しみや学びを広げる



例えば
パソコン教室に入るときに
かかるお金が無料になります

たれいになると元気になる



例えば
髪を切るお金が
10%安くなります

お得に買い物



例えば
毎月5のつく日は
お肉が10%安くなります

ともだちと一緒に楽しむ



例えば
カラオケのお金が
30%安くなります

濱ともカードの 受け取り方

- 65歳になる人に、介護保険証と一緒に届きます
- 区役所窓口か、そごう横浜店（6階ミレニアムカウンター）で受け取れます



かわいいことはこちら

よこはま 横浜の魅力を もういちど見つけに行こう

けいろう敬老の日に、さい65歳より上の市民の人（一部は60歳より上の
人）は、お得に使えるサービスがあります。

【行う日】9月21日（月よう・祝日）ほか

【行う施設】三溪園ほか市内8施設

【優待内容】施設の無料入場など



かわいいことはこちら

オススメスポットを紹介します



開園120周年！

くにしていめいしょうさんけいえん
国指定名勝 三溪園

ひろにほんていえん
広い日本庭園で、ススキやキン
モクセイなどの秋の風景と、歴史
がある建物を楽しむことができま
す。

けいろう敬老の日は
無料で！
入れます

きくところ けんこうふく し きょくこうれいけんこうふく し か
健康福祉局高齢健康福祉課 TEL 045-671-2406 FAX 045-550-3613